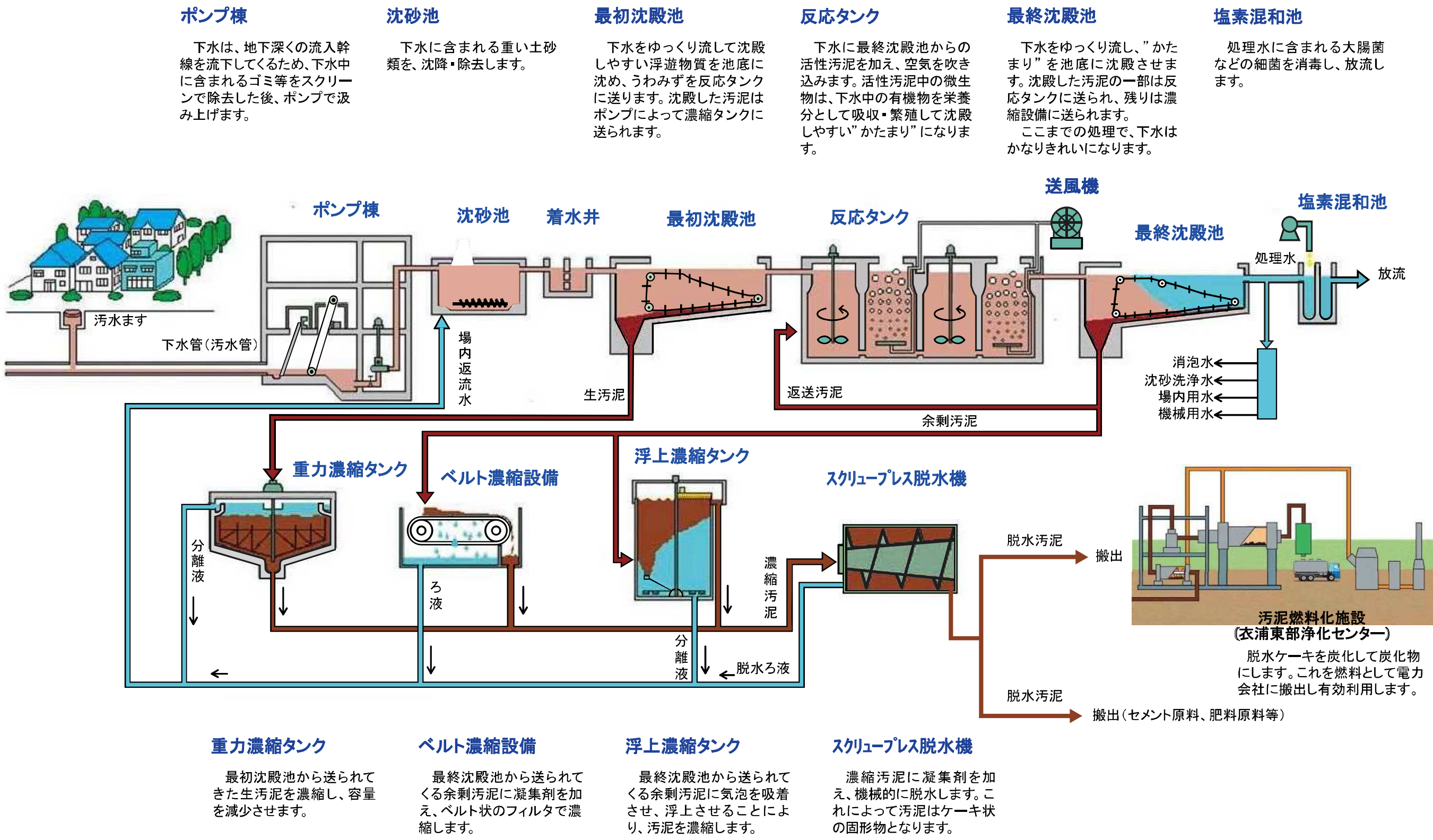


境川浄化センターのしくみ



ポンプ棟

下水は、地下深くの流入幹線を流下してくるため、下水中に含まれるゴミ等をスクリーンで除去した後、ポンプで汲み上げます。

沈砂池

下水に含まれる重い土砂類を、沈降・除去します。

最初沈殿池

下水をゆっくり流して沈殿しやすい浮遊物質を池底に沈め、うわみずを反応タンクに送ります。沈殿した污泥はポンプによって濃縮タンクに送られます。

反応タンク

下水に最終沈殿池からの活性污泥を加え、空気を吹き込みます。活性污泥中の微生物は、下水中の有機物を栄養分として吸収・繁殖して沈殿しやすい"かたまり"になります。

最終沈殿池

下水をゆっくり流し、"かたまり"を池底に沈殿させます。沈殿した污泥の一部は反応タンクに送られ、残りは濃縮設備に送られます。ここまでの処理で、下水はかなりきれいになります。

塩素混和池

処理水に含まれる大腸菌などの細菌を消毒し、放流します。

重力濃縮タンク

最初沈殿池から送られてきた生污泥を濃縮し、容量を減少させます。

ベルト濃縮設備

最終沈殿池から送られてくる余剰污泥に凝集剤を加え、ベルト状のフィルタで濃縮します。

浮上濃縮タンク

最終沈殿池から送られてくる余剰污泥に気泡を吸着させ、浮上させることにより、污泥を濃縮します。

スクレープレス脱水機

濃縮污泥に凝集剤を加え、機械的に脱水します。これによって污泥はケーキ状の固形物となります。

